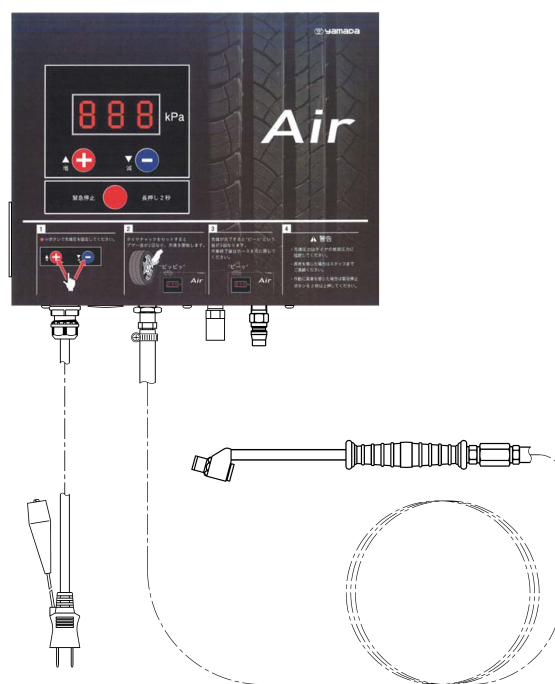
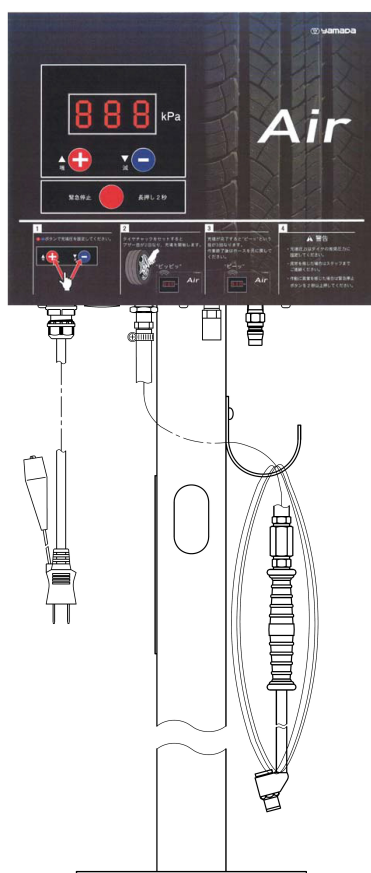


取扱説明書

デジタルエアタワー

DAT-1300S スタンド形 ITEM No.855196

DAT-1300K 壁取付形 ITEM No.687072



警告

安全のため、本機のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

目 次

1	使用目的.....	6
2	危険・警告事項.....	6
2.1	危険・警告事項	6
2.2	危険ラベルの貼付位置	8
3	各部の名称および構造.....	9
3.1	外形図	9
3.2	配管図	10
4	設置上の注意及び運転準備	11
4.1	梱包内容の確認	11
4.2	設置上の注意	11
4.2.1	スタンド形を設置する場合	12
4.2.2	壁取付形を設置する場合	12
4.2.3	エア源の準備.....	13
4.2.4	電源の準備.....	13
5	操作方法.....	14
5.1	運転準備	14
5.2	充填操作	15
6	保守・点検.....	16
6.1	故障の原因と対策	16
6.2	定期保守	18
7	仕様.....	19
8	製品保証登録シート	20
9	保証規定.....	21

はじめに

このたびは〔デジタルエアタワー DAT-1300S, DAT-1300K〕をお買い上げ頂き有難うございます。本機をご使用になる前にこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用してください。

本書は、お使いになる本機が、故障なく充分に皆様のお役に立つことを念願して、正しい使用方法と使用上の注意について説明したものです。

この説明書を読む前に、本機の取扱い操作は行わないでください。

特に、注意事項について熟読されるとともに、本書を常に手元に置いてご活用ください。

尚、ご使用中にご不明の点・不具合がございましたら、お買い上げの販売店または裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

＊取扱説明書あるいは警告ラベル等は大切に ご使用してください。万一紛失・汚損された場合は速やかにお買い上げの販売会社からご購入いただき、保管・貼付してください。



警 告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。

警告表示は安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のために重要な事柄が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してください。



危険・・・取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷及び火災等重大な物的損害を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警告・・・取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷及び火災等重大な物的損害を負う可能性が想定される場合。



注意・・・取扱いを誤った場合に、使用者が損害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみが想定される場合。

危険・警告・注意事項

	項 目	危険	警告	注意	ページ
1	指定圧力を確認して入れすぎないこと、バーストにより重大な事故の可能性があります。		○		6
2	ダブルエアチャックをタイヤバルブに確実に噛み込ませないと、チャックがはずれ充填用ホースが飛び怪我の可能性があります。		○		6
3	本機を改造することは絶対に行わないでください。改造しますと機能変化を起こすだけでなく、感電やヤケドなどの傷害事故や物的損害を生じる恐れがあります。		○		6
4	取扱説明書をよく読み、理解した上で使用してください。		○		7
5	接地をしなかった場合、本機の故障及び感電・火災などによる傷害の原因となります。		○		7
6	タイヤにエアを充気する際はタイヤに損傷及び劣化がないか確認してください。損傷や劣化しているとタイヤに充気を行うと、タイヤの破裂等の原因となります。		○		7
7	本機を子供が操作しないよう注意願います。		○		7
8	本機に耳を近づけないでください。本機から出る音で障害が発生する可能性があります。		○		7
9	本機は防爆性を有していませんので防爆規制エリアには設置できません。提供される規制に従って設置場所を決定してください。		○		7
10	電源の配線工事を行う場合には、電気工事有資格者が行ってください。漏電などの障害の原因になります。		○		7

	項 目	危険	警告	注意	ページ
1 1	設置時誤って製品を落下させぬよう注意してください。		○		1 1
1 2	本機を設置する際は法令を遵守してください。		○		1 1
1 3	AC 1 0 0 V以外の電源を使用しないでください。			○	1 1
1 4	本機は転倒しないように設置してください。			○	1 1
1 5	電源コードは踏まないでください。			○	1 1
1 6	タコ足配線はしないでください。			○	1 1
1 7	使用するエアホースは付属のホースを利用してください。正確な圧力で充填できない場合があります。			○	1 1
1 8	本機を使用する際はエアホースに無理な曲げ、潰れ、引張りがかからないよう、取扱いには注意してください。			○	1 1
1 9	本機を使用する際はエアホースを引きずらないように注意してください。また、エアホースに損傷が見られた場合は、エアホースを交換してください。			○	1 1
2 0	アンカーの施工に不備があると製品の落下や転倒の可能性がありますので、ご注意ください。			○	1 1
2 1	エア配管工事をされたときは、本機との接続前に十分なフラッシングを行ってください。			○	1 3
2 2	本機に供給するコンプレッサーの圧力は 0.8MPa 以下の清浄なエアを供給してください。圧力が 0.8MPa を超える場合には、エアレギュレーターを必ず設置してください。			○	1 3
2 3	清浄なエアが確保できない場合やエア供給パイプが長すぎる場合、エア供給ラインの出口にエアフィルターを設置してドレン水を排除することをお勧めします。出来るだけドレン水が本機に混入しないようにご注意ください。			○	1 3
2 4	本機は乗用車用タイヤへのエア充填以外には使用しないでください。			○	1 4
2 5	本機を乱暴に扱ったりして破損させることのないように、充分注意してください。			○	1 4

	項 目	危険	警告	注意	ページ
2 6	夜間・休日等、長時間使用しない場合は、電源およびコンプレッサーを止めてください。不意の動作などで物的損害を生じる恐れがあります。			○	1 4
2 7	充填圧力はタイヤの指定圧力に設定してください。			○	1 4
2 8	設定圧力と現在の圧力の差が 10kPa より大きくなると動作しないように設定しています。			○	1 4
2 9	通常時は緊急停止ボタンを長押ししないでください。タイヤチャックより空気が放出されます。			○	1 4
3 0	修理時は電源プラグをコンセントから抜いてください。			○	1 6
3 1	故障、損傷した場合は、使用しないこと。			○	1 6
3 2	エアホース接続口（＝充填口）のホースバンドは定期的に増し締めしてください。			○	1 8
3 3	廃棄時等により製品を取り外す際には、足等に落下させないように注意してください。			○	/

1 使用目的

本機は、乗用車などのタイヤに空気を充填するデジタルエアタワーです。空気の補充専用機となります。表示部分は大型 LED（34mm×72mm）で、盤面は角度調整機構付きで、非常に視認しやすく、また、充填圧力をセットした後、ダブルエアチャックをタイヤバルブにセットすると、自動的にタイヤの残存する内圧を感知して、充填圧力まで充填を行うことができます。

- デジタルエアタワーは、耐防爆ではありませんので防爆要求エリアに設置することはできません。
- 屋内・屋外共に設置使用できます。
- 自転車や空気ベッド及びタンク容器などへの充填には使用できません。
- タイヤチャックは、オープンエンドタイプ以外は使用できません。

（オープンエンドタイプとは、タイヤからタイヤチャックと切り離してもエアが通じるバルブタイプをいう。参考 反対用語：クロードエンドタイプ：タイヤチャックを切り離すとエアが通じないバルブタイプ）

2 危険・警告事項

2.1 危険・警告事項



警

告

<タイヤへの過充填禁止>

- 指定圧力を確認して入れすぎないこと、バーストにより重大な事故の可能性があります。

<充填用チャックは確実に>

- ダブルエアチャックをタイヤバルブに確実に噛み込ませないと、チャックがはずれ充填用ホースが飛び怪我の可能性があります。

<分解禁止>

- 本機を改造することは絶対に行わないでください。改造しますと機能変化を起こすだけでなく、感電やヤケドなどの傷害事故や物的損害を生じる恐れがあります。



警

告

＜取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること＞

- 誤操作により、思わぬ事故の可能性があります。

＜接地を行い使用すること＞

- 接地をしなかった場合、本機の故障及び感電・火災などによる傷害の原因となります。

＜正常なタイヤに使用すること＞

- タイヤにエアを充気する際はタイヤに損傷及び劣化がないか確認してください。損傷や劣化しているとタイヤに充気を行うと、タイヤの破裂等の原因となります。
- 本機を子供が操作しないよう注意願います。
- 本機に耳を近づけないでください。本機から出る音で障害が発生する可能性があります。
- 本機は防爆性を有していませんので防爆規制エリアには設置できません。提供される規制に従って設置場所を決定してください。
- 電源の配線工事を行う場合には、電気工事有資格者が行ってください。漏電などの障害の原因になります。

2.2 危険ラベルの貼付位置

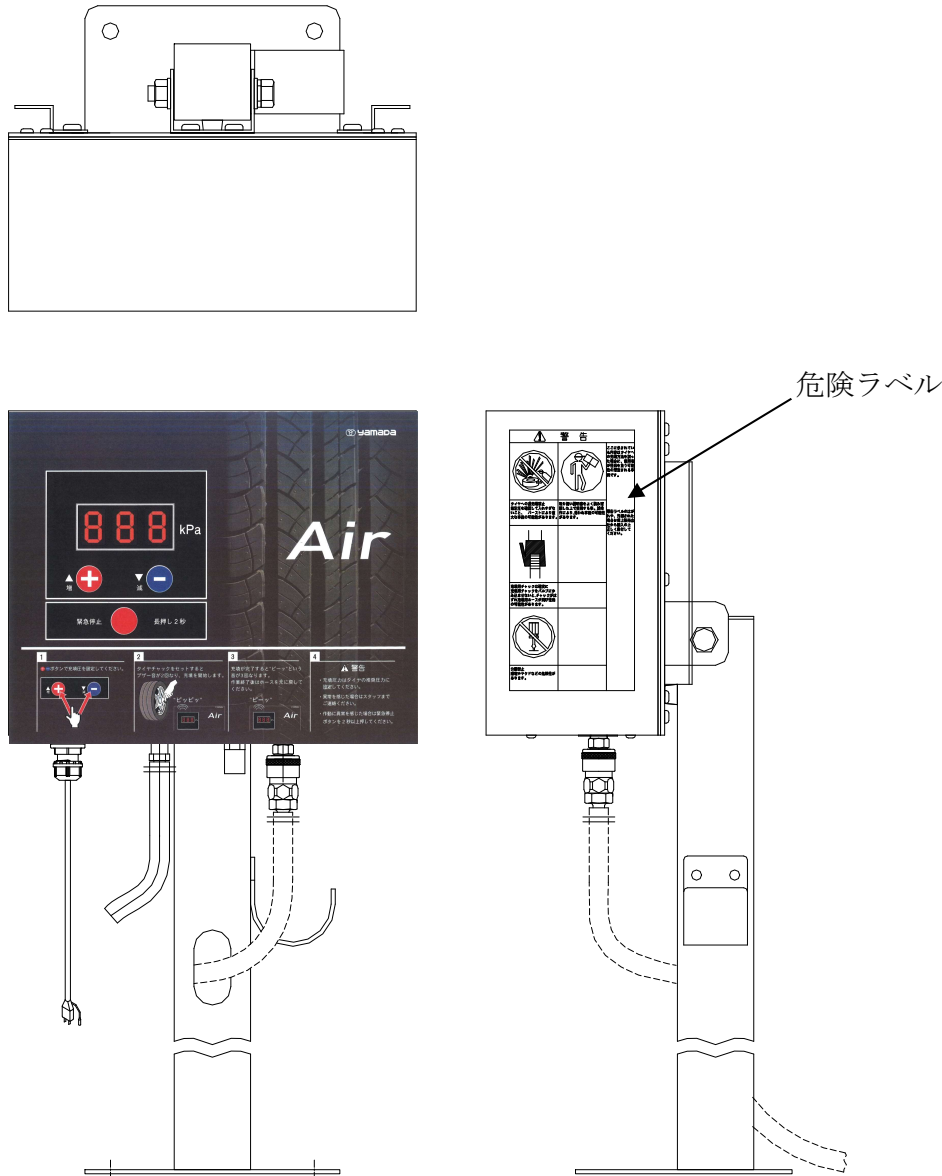


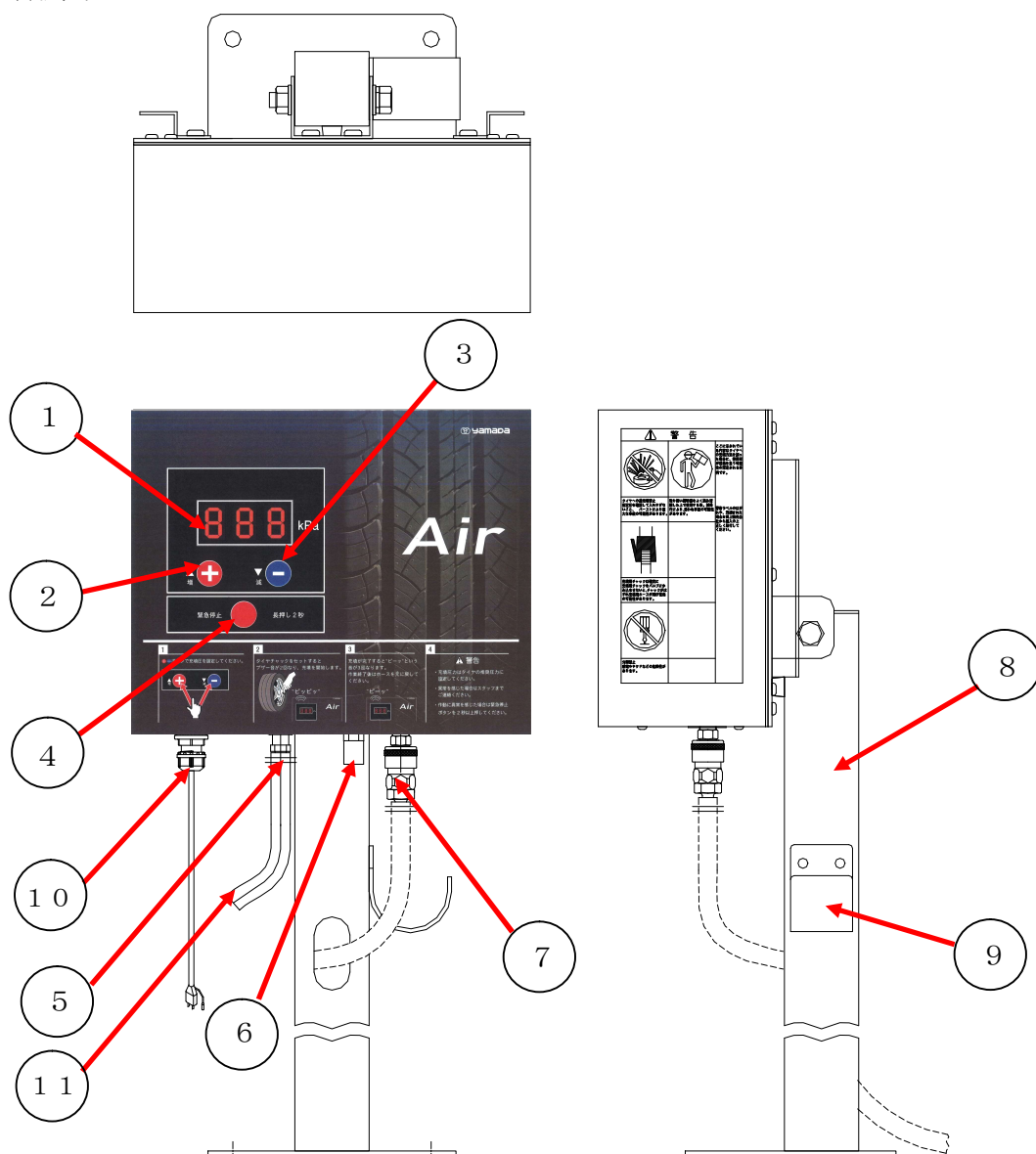
図 2.1 危険ラベル貼付図

危険ラベル

警告		ここに記されている 注意事項は、作業時 に必ず守ってください。 違反すると、人身の 死傷や財産の損失、 環境汚染などの重大 な事故の原因となり ます。
	タイヤへの火気厳禁 タイヤに火気（ライター、 マッチ、タバコ、ガス バーナーなど）を近づ けず、タイヤに火気 をかけないでください。 タイヤに火気がかか ると、タイヤが燃焼し 、火災の原因となり ます。	
	タバコを吸うときは 必ず吸い殻を捨てて ください。吸い殻が タイヤに落ちると、火 災の原因となります。 また、吸い殻がタイヤ に刺さると、タイヤが 破損する可能性があります。	
	鋭利な物体は厳禁 鋭利な物体（釘、針、 ドライバーの先端など） は、タイヤに近づけず 、タイヤに刺さらない でください。刺さると 、タイヤが破損する可 能性があります。	
	電気機器は厳禁 タイヤに電気機器（充電 機、電動工具など）を 近づけず、タイヤに電 気機器を刺さらない でください。刺さると 、タイヤが破損する可 能性があります。	

3 各部の名称および構造

3.1 外形図



1	大 型 L E D 表 示 部	6	排気口（サイレンサー）
2	充填圧力設定ボタン（増+）	7	供 給 口 （ 一 次 側 ）
3	充填圧力設定ボタン（減-）	8	ス タ ン ド
4	緊 急 停 止 ボ タ ン	9	ホ ー ス フ ッ ク
5	充 填 口 （ 吐 出 側 ）	10	電 源 コ ー ド (4m、アースクリップ付き)
11	エ ア ホ ー ス (8m、ダブルエアチャック式)		

図 3.1 外形図

3.2 配管図

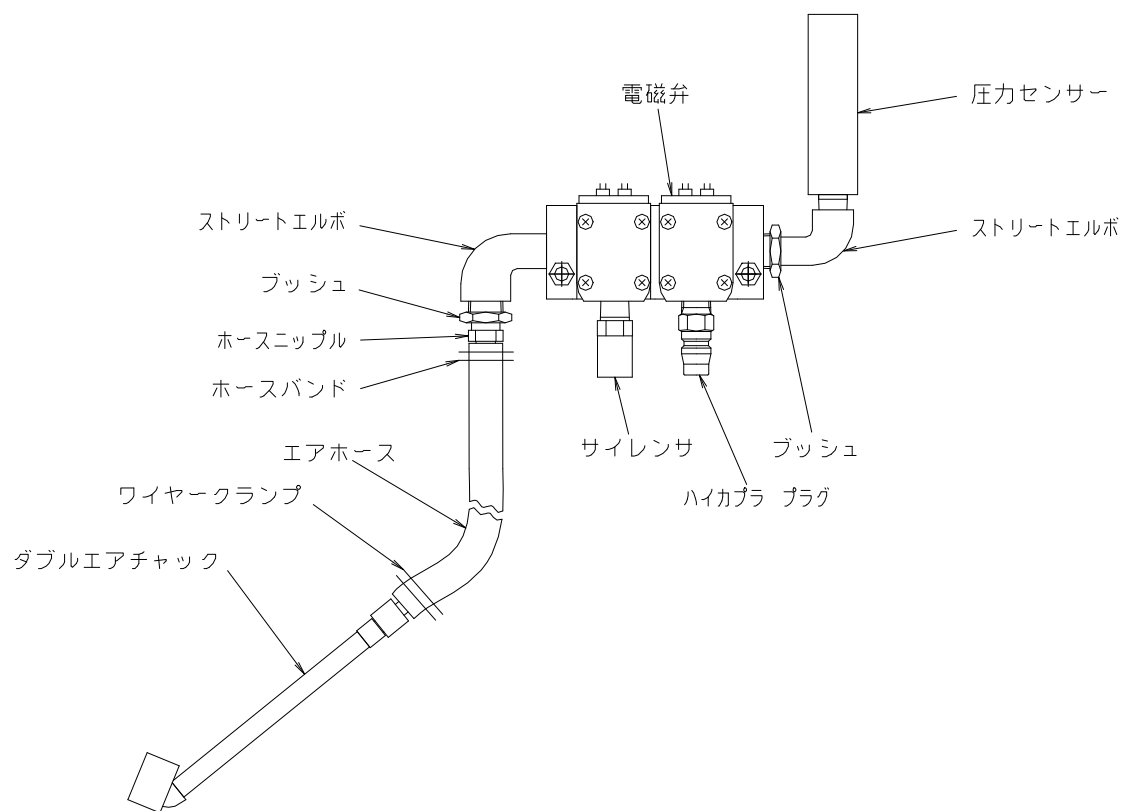


図 3.2 配管図

4 設置上の注意及び運転準備

ご購入頂いた仕様が壁取付形の場合、687072 タイヤインフレーター1 個口となり、スタンド式の場合は、687072 タイヤインフレーターと 687073 スタンドの 2 個口での梱包となります。

4.1 梱包内容の確認

- (1). 梱包を開梱した後、外観上の傷や破損がないか確認してください。
- (2). 下記の付属品が揃っているか確認してください。

梱包内容

687072 タイヤインフレーター		687073 スタンド	
本体	1 台	本体	1 本
8m エアホース (ダブルエアチェック付)	1 式	金具 (タイヤインフレーター取付用)	1 個
ホースフック	1 個	ボルト (金具用)	1 本
アンカーボルト M8×50 (本機用)	4 本	平座金 (金具用)	2 枚
アンカーボルト M6×45 (ホースフック用)	2 本	ナット (金具用)	1 個
取扱説明書 (本書)	1 冊	アンカーボルト (M12×1.75×70)	4 本

4.2 設置上の注意



警

告

- 設置時誤って製品を落下させぬよう注意してください。
- 本機を設置する際は法令を遵守してください。



注

意

- AC100V 以外の電源を使用しないでください。
- 本機は転倒しないように設置してください。
- 電源コードを踏まないでください。
- タコ足配線はしないでください。
- 使用するエアホースは付属のホースを利用してください。正確な圧力で充填できない場合があります。
- 本機を使用する際はエアホースに無理な曲げ、潰れ、引張りがかからないよう、取扱いには注意してください。
- 本機を使用する際はエアホースを引きずらないように注意してください。また、エアホースに損傷が見られた場合は、エアホースを交換してください。
- アンカーの施工に不備があると製品の落下や転倒の可能性がありますので、ご注意ください。

4.2.1 スタンド形を設置する場合

- (1). エア充填作業エリアを選んでください（ホース長さ 8 m でエア充填作業が可能な範囲）。エア充填作業エリアは屋内外を問いませんが、大型 LED 表示部の見易さを考慮してください。
- (2). 水平な取付け床面にスタンドを配置して、付属のアンカーで固定してください。

スタンドアンカー取付寸法：横 160mm × 縦 130mm（図 4.1）

注）アンカー作業を行った際に出たゴミ等が、ホース口金から進入しないように留意してください。

- (3). エアインフレーター本機の角度を盤面が見易い角度に調整してボルトで固定してください。（図 4.2）
- (4). 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- (5). ダブルエアチャック付エアホースを充填口（吐出側）に取付けてください。

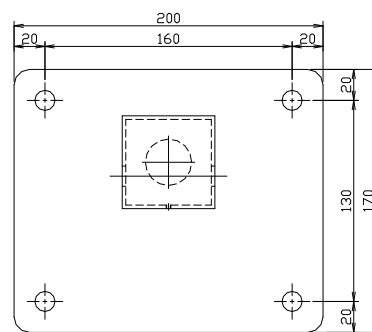


図 4.1 スタンドアンカー取付寸法

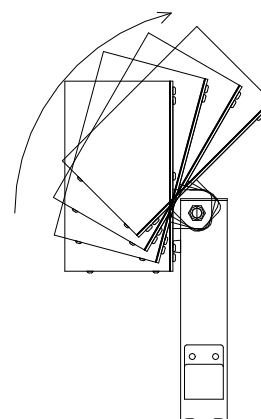


図 4.2 盤面角度調整機構

4.2.2 壁取付形を設置する場合

- (1). エア充填作業エリアを選んでください（ホース長さ 8m でエア充填作業が可能な範囲）。エア充填作業エリアは屋内外を問いませんが、大型 LED 表示部の見易さを考慮してください。
- (2). 本機およびホースフックを壁面に配置して、付属のアンカーボルトで固定してください。付属のアンカーボルトが使用できない壁面には、最適な固定具を別途用意してください。

本機用アンカー取付寸法：横 286mm × 縦 125mm（図 4.3）

ホースフック用アンカー取付寸法：幅 30mm（図 4.4）

注）アンカー作業を行った際に出たゴミ等が、ホース口金から進入しないように留意してください。

- (3). 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- (4). ダブルエアチャック付エアホースを充填口に取付けてください。

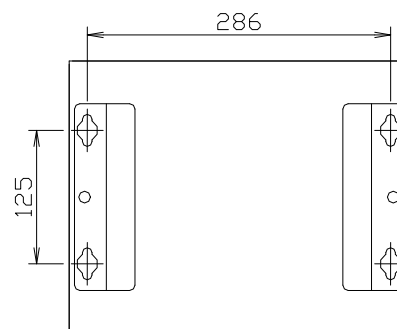


図 4.3 アンカー取付図（本機）

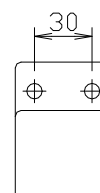


図 4.4 アンカー取付図（ホースフック）

4.2.3 エア源の準備

- (1). 清浄なエアを供給できる一次側コンプレッサーを本機の付近に用意してください。
- (2). 用意した一次側コンプレッサーと本機の供給口エアカップラ(プラグ 1/4 20PF)と接続してください。金属製エア配管される場合は、本機背面の小ネジ 12 本を取り外し、背面パネルを開けてください。供給口エアカップラ(プラグ 1/4 20PF)を取外して配管ユニオンに取り替えてください。背面パネルをネジで確実に取付けてください。取付けが不十分な場合、水が本機内部に入り、本機の故障および感電・火災による傷害の原因となります。
- (3). 本機の供給口圧力は絶対に 0.8Mpa を超えないようにしてください。



注

意

- エア配管工事をされたときは、本機との接続前に十分なフラッシングを行ってください。
- 本機に供給するコンプレッサーの圧力は 0.8MPa 以下の清浄なエアを供給してください。圧力が 0.8MPa を超える場合には、エアレギュレーターを必ず設置してください。
- 清浄なエアが確保できない場合やエア供給パイプが長すぎる場合、エア供給ラインの出口にエアフィルターを設置してドレン水を排除することをお勧めします。出来るだけドレン水が本機に混入しないようにご注意ください。

4.2.4 電源の準備

- (1). スタンド付近の壁面に AC100V のコンセントボックス、またはジョイントボックスを準備してください。
- (2). 電源コードを、コンセントボックス、またはジョイントボックスに接続します。
AC100V 50/60Hz

5 操作方法



注

意

- 本機を乗用車用タイヤへのエア補充以外には使用しないでください。
- 本機を乱暴に扱ったりして破損させることのないように、充分注意してください。
- 夜間・休日等、長時間使用しない場合は、電源およびコンプレッサーを止めてください。不意の動作などで物的損害を生じる恐れがあります。
- 充填圧力はタイヤの指定圧力に設定してください。
- 設定圧力と現在の圧力の差が 10kPa より大きくないと動作しないように設定しています。（充填終了後に圧力に反応して再度充填動作が行われなくないようにするため）。
- 通常時は緊急停止ボタンを長押ししないでください。タイヤチャックより空気が放出されます。

5.1 運転準備

- (1). 本機に供給しているエアバルブを開いてエアを供給してください。充填圧よりも 200kPa 高い供給圧を保証してください。例えば 200kPa の充填圧に対しては 400kPa 以上の元圧が必要となります。
- (2). 電源を供給するとイニシャル値として 200kPa が自動的に表示されます。

5.2 充填操作

- (1). 増+/減-ボタンを押して充填圧力を設定してください。充填圧力は 30kPa～600kPa まで 10kPa 刻みで設定できます。(図 5.2)
- (2). ダブルエアチャックをタイヤバルブにセットするとタイヤ内の圧力を感知して、開始音（ピッピッ）が鳴り、充填動作が自動的に開始されます。(図 5.3)
- (3). タイヤ内の圧力が設定した充填圧力になると完了音（ピーピーピー）が鳴り、充填終了を知らせます。
- (4). ダブルエアチャックをタイヤバルブから取り外して、エアホースを元に戻してください。

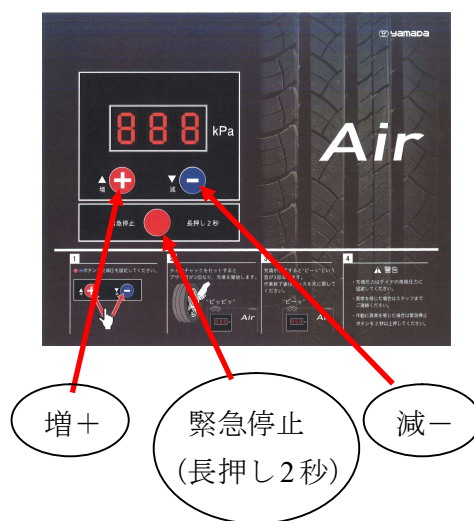


図 5.2 操作部

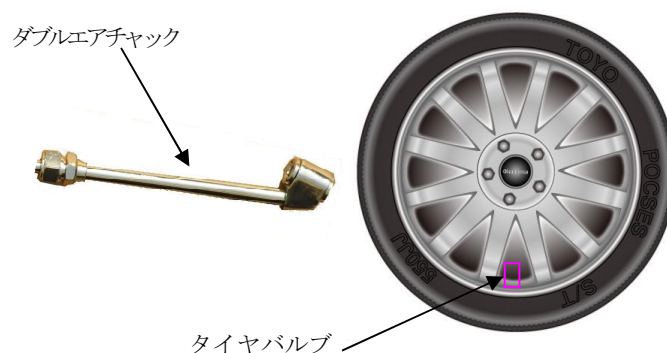


図5.3 ダブルエアチャックとタイヤバルブ

6 保守・点検

6.1 故障の原因と対策

「故障かな」と思われたら、もう一度確認してください。
異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読みいただき、下記の点検を実施してください。それでも不具合が解消しない場合は、販売店へご相談ください。



注

意

- 修理時は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 故障、損傷した場合は、使用しないこと。

表 6.1 エラー表示の原因と処置方法

No.	エラー表示	原 因	処 置
1	・LED 表示部に 0__1 と表示され、 エラー音（ピー）が 鳴る。	緊急停止ボタンを 2 秒以上 押し続けた。	圧力設定ボタンを押すと LED 表示部に 0__1 と表示された異常状態は解除された後、 圧力設定表示に戻ります。
2	・LED 表示部に 0__2 と表示され、 エラー音（ピー）が 鳴る。	充填作業中にダブルエアチ ャックをタイヤバルブから 外した。	圧力設定ボタンを押すと LED 表示部に 0__2 と表示された異常状態は解除された後、 圧力設定表示に戻ります。
3	・LED 表示部に 0__3 と表示され、 エラー音（ピー）が 鳴る。	一次圧力が不足している。	圧力設定ボタンを押すと LED 表示部に 0__3 と表示された異常状態は解除された後、 圧力設定表示に戻ります。コンプレッサーまた は元圧を確認してください。
4	・LED 表示部に 0__4 と表示され、 エラー音（ピー）が 鳴る。	内部の圧力トランスミッタ ーが故障している。または 結線部が外れている。	販売店へお問合せください。

表 6.2 故障の原因と処置方法

No.	状況	原因	処置
1	・LED 表示部に何も表示されない。	電源プラグがコンセントに入っていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください (AC 100V)
2		元電源に AC100V が供給されていない。	元電源を確認してください。(AC100V±10% 50/60Hz)
3		本体用ヒューズ (1 A) が切れている。	販売店へお問合せください。
4		結線部が外れている。	販売店へお問合せください。
5		内部配線が断線している。	販売店へお問合せください。
6		LED 表示部が故障している。	販売店へお問合せください。
7	・充填時間が長くなった。	ダブルエアチャックのパッキン部の詰まり、緩み	パッキンの清掃または交換してください。
8		エアホースやスタンド内部のホースの折れやねじれがある。	折れやねじれを修正してください。破損が激しい場合にはホースを交換してください。
9		電磁弁ポートに異物が詰まっている。	販売店へお問合せください。
10	・電磁弁の動作音 (カチッ音) の弱くなった。	電磁弁のコイルが消耗している。	販売店へお問合せください。
11	・排気速度が遅くなった。	排気用電磁弁のポートが詰まっている。	販売店へお問合せください。
12		排気口サイレンサーが詰まっている。	販売店へお問合せください。
13	開始音・完了音・エラー音が鳴らない。	ブザーの故障	販売店へお問合せください。
14	タイヤとダブルエアチャックが確実に接続できない。	ダブルエアチャックの磨耗	ダブルエアチャックを交換してください。
15	タイヤと接続していない時のダブルエアチャックからのエア漏れ	ダブルエアチャックの磨耗	ダブルエアチャックを交換してください。

6.2 定期保守

項目	サイクル	方法
ホースとダブルエアチャックのチェック	毎週	ホースのヒビ割れ、ホースバンドの緩み、ダブルエアチャックの食いつき加減、パッキン、交換の要否判定

注)

- 本体内の電子制御ボードのメンテナンス要素はありません。もし、これらが故障ならばメーカー交換が必要です。販売店へご相談ください。
- 表面パネルは、中性洗剤を使用して清掃してください。大型 LED 表示部の窓に溶剤を使用しないでください。変色して表示が見えなくなります。
※表面パネルの清掃は必ず電源が OFF になっている事を確認してから行ってください。



注

意

- エアホース接続口（＝充填口）のホースバンドは定期的に増し締めしてください。

6.3 消耗品

24910600BZ エアホース

26018006HR ダブルエアチャック

7 仕様

型式	DAT-1300S	DAT-1300K
製造番号	855196	687072
電源	AC100V±10% 50/60Hz	
定格消費電流	0.2A	
エア供給圧力	最高 0.8MPa	
エア充填圧力	30～600kPa	
エアホース	8m（ダブルエアチャック付）	
エア供給口	Rc1/4”（エアカプラー付き）	
最小目盛り	1kPa	
精度	±5kPa	
使用温度範囲	-20℃～60℃	
機体寸法	W320×D240×H1100	W320×D162×H255
重量	13kg	8.5kg
IP レーティング	IP43	
標準機能	エラー表示、エラー音、開始音、完了音	
標準装備	エアホース 8m、ダブルエアチャック、 アンカーボルト 4 本、ホースフック、 供給口エアカプラー（プラグ 1/4 20PF）	

8 製品保証登録シート

・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____		フリガナ ご担当者名 _____																												
郵便番号 _____ フリガナ ご住所 _____ _____		ご所属 _____ ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																												
■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。 <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報とは当社の個人情報保護方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

9 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障がございました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1. **保証期間**：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。
2. **保証内容**：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
3. **適用除外**：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
 - (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
 - (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
 - (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
 - (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
 - (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
 - (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
 - (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
 - (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
 - (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
 - (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用した場合の故障。
 - (12) 日本国外においてご使用の場合。
尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。
・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類
4. **補修部品**：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055